

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	明治産業株式会社					
代表者名	氏名	中野 洋	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県須坂市高梨288					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	キャンデー・錠菓・ガム等の菓子製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2343	2272	2423	2407	2177
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	4701	4560	4883	4859	4401
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	0
自動車の台数	台	2		2	2	2
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	1				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 31 年度		

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

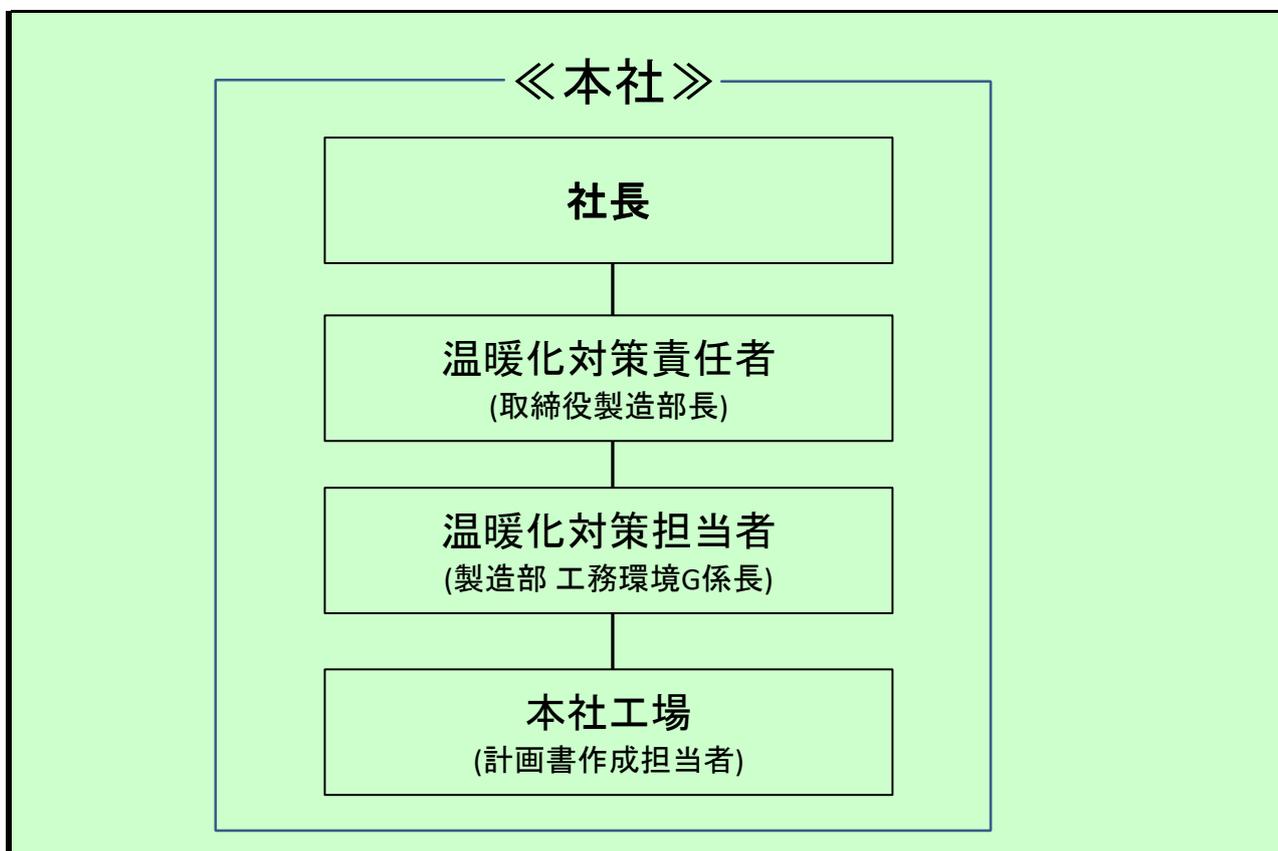
<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所：明治産業株式会社 工務棟 時間：平日8:00～17:00 担当部署：製造部工務環境G 電話番号：026-246-1122(代表)
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- ・省エネ法に基づく削減目標を定め、省エネルギー活動を推進する。  
企業活動での省エネルギー、省資源と廃棄物削減に努める

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・環境委員会 (毎月開催)
- ・ISO14001会議 (隔月開催)

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,701	t-CO <sub>2</sub>	生産金額	45.59	単位	億円	
28年度	調整後排出量	4,679	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	103.11	t-CO <sub>2</sub> /	億円	
目標年度	目標排出量	4,560	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	100.01	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	省エネ法に合わせ、3年間で年平均1%の削減目標とし合計3%を達成する。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,883	t-CO <sub>2</sub>	生産金額	49.49	単位	億円	
	調整後排出量	4,852	t-CO <sub>2</sub>	原単位	98.67	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
29年度	削減率	(3.88)	%	削減率	4.30	%		
排出量等の増減理由	平成29年度ライン変更があり電力使用量が増加した。ガス使用量は削減されたが合算すると増加となった。ライン変更により稼働が増えた事もあり生産金額が伸びた為、原単位は改善された結果となった。							
第二年度	排出量	4,859	t-CO <sub>2</sub>	生産金額	51.10	単位	億円	
	調整後排出量	4,833	t-CO <sub>2</sub>	原単位	95.09	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
30年度	削減率	(3.37)	%	削減率	7.77	%		
排出量等の増減理由	平成30年度ライン変更があり電力使用量は増加した。蒸気ボイラを全台(2t×4台)入れ替えた事でガス使用量が大幅削減となった。生産が増加に対しエネルギー使用量が対前年に減となっている。当然原単位も削減されている。							
第三年度	排出量	4,401	t-CO <sub>2</sub>	生産金額	49.24	単位	億円	
	調整後排出量	4,371	t-CO <sub>2</sub>	原単位	89.38	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
31年度	削減率	6.38	%	削減率	13.31	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	生産エリアの温湿度管理の徹底、照明LED化推進により電力が削減している。2号館システムの蒸気ヘッドコントロール制御により、ガス使用量を大幅に削減できている。また平成31年度2月以降は、ゴミ生産ライン変更のため生産が停止し、生産金額も減少したが電力使用量も減少した。							

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1	t-CO <sub>2</sub>			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	310400 エネルギー使用量の管理	29	0	29	0
2	エネ起	310300 計測及び記録の管理	29	0	29	0
3	エネ起	380752 LEDの導入	29	5	29	5
4	エネ起	330299 空気調和設備、換気設備に係る その他の削減対策	29	17	29	28
5	エネ起	329999 ボイラ、工業炉、蒸気系統、 熱交換器等に係るその他の削減対策	31	35	30	124
6	エネ起	310500 生産工程のエネルギー管理	30	0	30	0
7	エネ起	330299 空気調和設備、換気設備に係る その他の削減対策	30	34	30	51
8	エネ起	380752 LEDの導入	30	5	30	5
9	エネ起	360703 コンプレッサの運転管理	29	51	30	38
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	22		31	26	30
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上								
1,500kl以上 3,000kl未満	1	4,701	1	4,883	1	4,859	1	4,401
1,500kl未満								
合計	1	4,701	1	4,883	1	4,859	1	4,401

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	2	2	2	2
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率88%。対策等は特になし
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	生産予定を把握し、空荷を最小限とする出荷を行っている

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001取得	2018年度
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	省エネ・節電パトロールを毎月実施 内容：工場内を巡回し、無駄に点いている照明や機器を指摘。 省エネ意識向上の為、機器のメンテナンスや使用状況を簡潔に説明。
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの改修により節水型トイレ導入により井水削減に繋がった</li> <li>・蒸気ボイラブロー率削減により給水量が減り、市水削減に繋がった</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キュービクル内の各ブレーカに電力計を取り付け電力見える化を実施</li> <li>・蒸気各系統に蒸気流量計を取り付け蒸気の見える化を実施</li> <li>・省エネパトロール継続実施</li> <li>・ISO14001活動メンバーによる現場の省エネ実施</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力見える化を部署ごとの分類を進めた</li> <li>・省エネパトロール継続実施</li> <li>・ISO14001活動メンバーによる現場の省エネ実施</li> <li>・廃水処理の希釈水コントロールにより、井水使用量削減</li> </ul>

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高COPエアコンへ随時更新</li> <li>・省エネタイプ蒸気トラップ更新</li> <li>・不要設備時間外停止</li> </ul>	100
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造、包装ライン停止時の空調運転台数見直し</li> </ul>	